製品安全データシート

１．製品及び会社情報

製　品　名	ＧＲＬＣ－Ｊ
会　社　名	住友大阪セメント株式会社
住　　所	東京都千代田区六番町６番地２８
担 当 部 門	建材事業部
電 話 番 号	０３－５２１１－４７５２
ＦＡＸ 番 号	０３－３２１１－５６２４
緊急連絡先	建材事業部技術開発グループ
緊急連絡先電話番号	０４７－４５７－７６５１

推奨用途及び使用上の制限

コンクリート補修・補強材として用いられる

２．危険有害性の要約

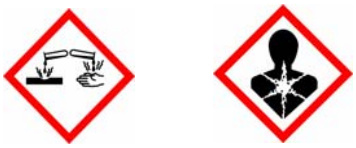
ＧＨＳ分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	：区分１
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	：区分１
	発がん性	：区分１Ａ
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	：区分１（呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	：区分１（呼吸器系、腎臓）

記載がないものは分類対象外または分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル　：



注意喚起語　：危険

危険有害性情報　：重篤な皮膚の薬傷
重篤な目の損傷
発がんのおそれ
吸引した場合、臓器（呼吸器系）の障害のおそれ
呼吸器系の障害
長期又は反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害のおそれ

注意書き

【予防策】　：使用前に取扱説明書（製品安全シートなど）を入手すること。

すべての安全・注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
指定された個人用保護具を着用すること。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと
保護手袋／保護衣／保護長靴／保護眼鏡／防塵マスクを着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸引しないこと。
換気の良い状態で使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。

【対応】　：皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
吸入した場合：新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

【保管】　：施錠して保管すること。

【廃棄】　：内容物／容器を、国／都道府県／市町村の規則にしたがって廃棄すること。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分　：混合物

化学名または一般名　　：セメント

成分及び含有量

成分名	含有量（%）	化学式	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS No.
ケイ酸カルシウム	10～20	$3CaO \cdot SiO_2$、$2CaO \cdot SiO_2$	（1）－194	12168－85－3
アルミン酸カルシウム	3～10	$3CaO \cdot Al_2O_3$※、$12CaO \cdot 7Al_2O_3$、$CaO \cdot Al_2O_3$	（9）－2408	※12042－78－3
硫酸カルシウム	3～10	$CaSO_4$	（1）－193	7778－18－9
珪砂※1	15～25	SiO_2	（1）－548	7631－86－9
軽量骨材	3～10	$SiO_2 \cdot Al_2O_3$	－	93763－70－3
シリカ（遊離シリカ）	0～8	SiO_2	（1）－548	14808－60－7
その他含有成分	35～45	非公開	非公開	非公開

※1　珪砂にシリカ（結晶質シリカ）として 0.1%以上含有する可能性がある。

労安法　　：

「労働安全衛生法第 57 条の 2」施工令第 18 条の 2　別表 9（名称等を通知すべき危険物及び有害物）

・シリカ

PRTR 法　：該当しない

毒劇物法　：該当しない

４．応急措置

吸入した場合　　：速やかに新鮮な空気の場所に移し、咳等が治まらなければ医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合　：速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。

目に入った場合　　：速やかに清浄な水で最低 15 分洗眼した後、医療処置を受ける。

飲み込んだ場合　　：水でよく口の中を洗浄した後、医療処置を受ける。

被災者の意識が朦朧としている場合、意識がない場合は、無理に吐かせないで速やかに医療処置を受ける。

５．火災時の措置

消　火　剤　　：不燃物質であるため製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤　：情報なし

６．漏出時の措置

漏出時には、できるだけ粉体の状態で回収する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：回収作業には、保護手袋、保護長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項　：粉塵が飛散しないようにする。
：濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

回収、中和　：漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむをえず､床面等に残ったものは水で洗浄する｡洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。
：回収物や回収した洗浄水は、13. 廃棄上の注意に従い、廃棄または排水する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：目､皮膚等への接触を避けるため､適切な保護具（保護手袋、保護衣､保護長靴､保護メガネ､防塵マスク等）を着用する。
：換気に注意する。
：取扱い後は、顔、手、口等を水洗する。

局所排気・全体排気　：屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。

注意事項　：袋の場合､破袋等につながるような粗暴な取扱いをしない。

安全取扱い注意事項　：アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

保管

適切な保管条件

技術的対策　：乾燥した場所に保管する。

混触禁止物質との分離　：水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。

推奨する容器包装材料　：防湿性の容器

保管方法　：施錠その他の方法により、部外者が触れない措置を講ずること。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん

Ｅ＝3.0／(1.19Q+1)　E=管理濃度(mg/m³)　Q：遊離けい酸（結晶質シリカ）含有率(%)

Q＝8%のとき、Ｅ＝0.29mg/m³

許容濃度

日本産業衛生学会（2010 年）

吸入性結晶質シリカ		0.03mg/m³（結晶質シリカ）
第 2 種粉塵	吸入性粉塵	1mg/m³
	総粉塵	4mg/m³
ACGIH	TLV－TWA(2010 年)	0.025mg/m³（結晶質シリカ）

設備対策　:室内で取扱う場合は許容濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。

：多量に取扱う場合は集塵機を設置する。

保護具

呼吸器の保護具　：防塵マスク

手の保護具　：保護手袋

眼の保護具　：保護メガネ

皮膚及び身体の保護具　：保護長靴、保護衣

９．物理的及び化学的性質

物理的状態　：固体

形状　：粉末

色　：灰白色

臭い　：無臭

ｐH　：水と接触すると 11～13

融点　：約 1000℃以上

比重（相対密度）　：1.30～2.00　g/cm³　(20℃)

溶解性　：水に難溶

その他　：爆発性なし、水硬性

１０．安定性及び反応性

安定性　：水と反応して安定固定化する。

危険有害反応可能性　：該当しない。

危険有害な分解生成物　：該当しない。

１１．有害性情報

急性毒性　：情報なし

皮膚腐食性／刺激性、眼に対する重篤な損傷／刺激性：
水と接触すると強アルカリ性（pH11～13）を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：
極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギー反応が起こる可能性がある。

生殖細胞変異原性　：データなし

発がん性　：データなし。結晶質シリカは、IARC で Group 1 に分類されていることから、区分１A に分類されている。本製品は、区分１A である結晶質シリカを 0.1%以上含有する可能性があるので区分１A に分類した。

生殖毒性　：データなし

特定標的臓器毒性（単回暴露）：
データなし。短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼす結晶質シリカを 0.1%以上含む可能性があるので、区分１（呼吸器系）に分類した。

特定標的臓器毒性（反復暴露）：
多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。特定標的臓器毒性（反復暴露）を持つと分類されている結晶質シリカを 0.1%以上含む可能性があるので、区分１（呼吸器系、腎臓）に分類した。

吸引性呼吸器有害性　：データなし

１２．環境影響情報

環境影響／生態毒性　：接触水はアルカリ性（pH 11～13）を呈するから、環境影響を及ぼさないように注意する。

残留性／分解性　：情報なし

生体蓄積性　：情報なし

土壌中の移動性　：情報なし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物

：固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

：洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しな

ければならない。

：処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

汚染容器及び包装　：容器は、産業廃棄物として処分する。

１４．輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報　：該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件　：

・粉塵のたたない方法で輸送する。

・破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。

・湿気、水漏れに注意する。

１５．適用法令

労働安全衛生法　：粉塵障害防止規則第 2 条　粉塵作業

労働安全衛生法　：第 57 条の２第１項 通知対象物質 政令番号 312 号 シリカ

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：該当しない

毒劇及び劇物取締法　：該当しない

消防法　：該当しない

船舶安全法　：該当しない

航空法　：該当しない

その他　：廃棄物の処理及び清掃に関する法律

：じん肺法

１６．その他の情報

本データシートは、日本工業規格 Z7250:2005「化学物質等安全データシート（MSDS）－第一部；内容及び項目の順序」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実体に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。